

別記様式

会議録（要点筆記）

| | |
|-----------|---|
| 会 議 名 | 第7回米原市教育振興基本計画審議会 |
| 開 催 日 時 | 令和3年10月22日（金） 午後7時～ 午後8時30分 |
| 開 催 場 所 | 米原市役所本庁舎 1階 コンベンションホールAB |
| 出席者および欠席者 | <p>出席者：大橋松行会長、梶本一孝副会長、田中一郎委員、高木清文委員、久保田吉則委員、富岡尚子委員、四方由美子委員、上橋純子委員、馬淵孝子委員、川部亮委員、山岡佳江委員、新木豊委員</p> <p>欠席者：須藤明子委員、藤木利彦委員、武田哲也委員</p> <p>【事務局職員】</p> <p>馬淵均教育長、上村浩教育部長、西村善成教育部次長兼教育総務課長、山口昌章学校教育課長、梶田悟生涯学習課長、花部正人スポーツ推進課長、藤田明子学校給食課長、立木ひろみくらし支援部長、口分田剛こども未来局長、江竜和信子育て支援課長補佐、小寺真司保育幼稚園課長、清水正樹政策推進課長、松村英香政策推進課長補佐、武藤梨加主査</p> <p>【株名豊】</p> <p>大川祐希</p> |
| 議 題 | <p>1 開会あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第3期米原市教育振興基本計画（案）に係るパブリックコメント結果について</p> <p>(2) 答申書（案）について</p> <p>(3) その他</p> <p>3 閉会あいさつ</p> |
| 結 論 | <p>計画案および答申書については、審議会の意見を基に会長、副会長、事務局において最終調整を行い、10月29日に市長へ答申を行う。</p> <p>（決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>皆様には夜分お疲れのところ、ご出席いただき感謝する。定刻となり、第7回米原市教育振興基本計画審議会を開催する。</p> <p>【資料確認】</p> <p>会議の成立について、出席委員は12人、本会議は成立している。会議は公開となっている。</p> <p>会議を始めるに当たり会長よりご挨拶をお願いします。</p> |
| 会長 | <p>皆様方には、夜間でお疲れのところ、また、何かとご多用のところ当審議会にお越しいただきお礼申し上げます。昨年11月に第6回の審議会を開催させていただき、それ以降、約1年間、継続会議の審議会を開催させていただいた。皆様方には教育振興基本計画について真摯にご議論をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>本日の審議会では、過日実施されたパブリックコメントを受けてご議論をいただき、最終的な検討をさせていただきたいと考えている。限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をよろしくお願い申し上げます。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事について会長に進行をお願いします。</p> |
| 会長 | <p>第3期米原市教育振興基本計画（案）に係るパブリックコメント結果について、審議する。パブリックコメントは、9月9日（木）から10月8日（金）まで実施された。その間に提出されたご意見の内容とご意見に対する対応について、ご審議いただきたい。</p> <p>パブリックコメント実施結果について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【パブリックコメント実施結果について、資料1、資料4に基づき説明】</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>会長</p> | <p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお願いします。</p> |
| <p>委員</p> | <p>学習においては活用できると思う。先生とのコミュニケーションの部分で、小学高学年、中学生となると「相談する場がない」という意見を子どもたちからも聞く。周囲の目を気にして相談しにくいということである。相談の1つのツールとして活用できれば有効だと思う。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ほかにご意見等があればお願いしたい。</p> <p>では、ほかにご意見がないので、パブリックコメントの修正については、ご承認いただいたものとする。</p> <p>本来であれば、次の議題に進むところであるが、この計画案について、疑問点等があればご意見をいただきたい。最終会議となるので、お気づきの点があればお願いします。</p> <p>私から、ご検討いただきたい点を何点が申し上げる。</p> <p>60ページの下から3行目に「米原市要保護児童対策地域協議会」とあるが、29ページ、63ページと用語解説では「米原市」がなく「要保護児童対策地域協議会」となっている。表現を統一した方が良いと思う。</p> <p>62ページの(5)「地域の良さを生かした特色ある教育の推進」の2つ目に「地域や家庭との連携・協力した取組」という表現あるが、文章の流れから考えると、この文章の中の「の」は不要だと思う。</p> <p>63ページの「施策の方向」の1つ目「米原の自然・歴史を学ぶ機会の充実」の2行目に、「ふるさと3事業（伊吹山に登ろう、ふるさとを描こう、本を読もう）」という表現があるが、「」（）を併用せずに、「伊吹山に登ろう」「ふるさとを描こう」「本を読もう」と表現すると良いと思う。理由は62ページの下から2つ目の表記と統一するためである。この部分も整合性を図っていただきたい。</p> <p>64ページ(1)「現状と課題」の2行目に「要保護児童対策地域協</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>議会の関係機関の連携を強化し」という表現があるが、2つの意味に捉えることができる。この協議会の中に関係機関がいくつか存在して、それらの機関間での連携を意味しているのか、それとも協議会の外にある、いろいろな機関との連携を意味しているのか、判断できない。どちらなのかで、大きく異なると思う。その後の3行目からの文言から、後者のように感じ取れるが、いかがか。</p> <p>協議会の外にある、いろいろな機関との連携を意味している。</p> |
| 会長 | <p>そうであれば、「要保護児童対策地域協議会の関係機関の連携」という表現を、「要保護児童対策地域協議会と関係機関との連携」と変更すると意味が通ると思う。私からは以上である。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘の点については、修正させていただく。</p> <p>64ページの上から2行目を「要保護児童対策地域協議会と関係機関との連携」という表現に修正するので、65ページの下から2つ目も、「要保護児童対策地域協議会と関係機関が連携・協力して」という表現に修正させていただく。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見、ご指摘等があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>33ページ①「多様なニーズに対応した教育の推進」の下から3つ目の名称「児童発達支援、保育所等訪問支援」とある。この名称で正しいのだが、72ページ「施策の方向」の下から4つ目では、「保育所訪問支援等を実施し」とある。保育所だけでなく小学校にも訪問支援をしているので、ここは「保育所等訪問支援」という正式な名称を使用していただきたい。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見、ご指摘等があればお願いしたい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>71ページの下から2つ目の「学校園における発達障がいのある子どもへの支援」では、タイトルは「学校」と「園」という形だが、本文では「ケース検討会などで相談や協議を行い、校内委員会の充実を含めた全校体制づくりを進め」となっており、「校内委員会」だけを取り上げている。「校園内委員会」という表現にすると整合が取れると思う。「全校体制づくり」についても、「全校全園体制づくり」とするべきかもしれない。訂正をお願いしたい。</p> <p>33ページ①「多様なニーズに対応した教育の推進」の「成果」の1つ目に「校内委員会において」という表現があるが、これも「校園内委員会において」と修正していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘の点については、修正させていただきます。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見、ご指摘等があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>24ページ「全国学力・学習状況調査」の数値について、質問する。滋賀県は7年連続で、全ての教科において全国平均を下回っている。特に小学校の国語の平均正答率は、都道府県別で最下位である。その理由としては、読解の基礎ができていないということが、9月1日の新聞に載っていた。令和元年の小学校の現状値78.9%に対し、令和3年度の目標値が、現状値を大きく下回る値である。中学校も同様であるが、その根拠を教えていただきたい。滋賀県教育委員会と協議した上で定めた値なのか。前後の文章を読んでも、米原市は滋賀県の中でも、決して高い値ではないと書かれていたが、そのような状況の中で、教育委員会としてはどのようにお考えなのか。</p> |
| 事務局 | <p>第2期の目標値が小学校で70%、中学校で65%ということで、令和元年度はその値を上回ったということである。令和2年度は調査がなかった。元年度以前は「読む能力」だったが、学習指導要領の改定等で、内容が若干変わり、今年度は「読むこと」という評価になった。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>その上で、数値がずいぶん変わっている。これは比べられないと考えている。</p> <p>この数値を滋賀県教育委員会が出され、この値で納得されているという解釈でよろしいか。それとも、米原市独自で策定した数値なのか。</p> |
| 事務局 | <p>この数値については、平成27年度の小学校68.7%に対する目標値ということで、今後については、市で新たな目標値を設定するべきだと考えている。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見、ご指摘等があればお願いしたい。文言の不都合等についてでもご意見をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>86ページの下から2つ目の2行目「登山やサイクリングなど」に、「ウォーキング」を追加されてはいかがか。その前段の文章で「本市の豊かな自然を生かしたユニークなスポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ市民層の拡大を図ります」とあるが、「登山やサイクリング」は高齢者が挑戦しにくいスポーツだと思う。近年、ウォーキングは第2次ブームで、米原市スポーツ推進協議会でも健康歩行というものが、長く実施されている。豊かな自然を活用する意味でも、ウォーキングというやさしい感じのスポーツも加えると良いと思い、提案する。</p> |
| 事務局 | <p>ご意見を参考に検討させていただきたい。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見、ご指摘等があればお願いしたい。</p> <p>では、いただいたご意見を踏まえ、事務局で最終調整をお願いしたい。最終確認については、会長、副会長に一任するというので、よろしいか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | (異議なし) |
| 会長 | では、最終確認は会長、副会長一任ということにする。 |
| 委員 | (2) 答申書(案)について、審議する。事務局から説明をお願いしたい。 |
| 事務局 | 【答申書(案)について、資料2に基づき説明】 |
| 会長 | ご説明の内容について、ご意見、ご質問があればお願いしたい。確認であるが、答申書の1から5は基本目標の1から5に対応するということでよいか。 |
| 事務局 | はい。 |
| 会長 | 50から51ページの基本目標の文言と、答申内容を見比べていただき、過不足等がないかご審議いただきたい。 答申案の2つ目には家庭教育が入っているようだが、答申案には入っていない。これでよいか。 答申書案の3つ目について、基本目標の後半部分も入っていないように思うが、これでよいか。 |
| 事務局 | 基本目標2では「学校・家庭・地域がつながり」となっているので、答申案の2つ目の「地域の人々と学校が一体となって」という部分に、「家庭」という文言を入れるように修正する。 答申案の3つ目では、「質の高い教育の推進」ということで包括したいと考えている。 |
| 会長 | ほかにご意見等があればお願いしたい。 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | 136ページの③「安全・安心な教育環境の整備」で、区切りが不自然な感じがする。 |
| 会長 | <p>ほかにご意見等があればお願いしたい。</p> <p>では、答申書の修正に関しては、会長・副会長で確認させていただきたいと思う。</p> <p>答申書は市長に手渡しするので、その際にこの審議会の様子も、口頭でお話させていただく。</p> |
| 会長 | その他について、事務局から報告はあるか。 |
| 事務局 | 答申につきましては、会長、副会長にご出席をいただき、10月29日（金）11時から本庁舎第1応接室で行う予定です。事務局からは以上です。 |
| 会長 | 当審議会に対し、思い等があればお願いしたい。 |
| 委員 | <p>今回、立派な教育振興基本計画ができあがり、答申され、きれいな冊子がつくられると思うが、これをどのようにして市民に浸透させていくのか、大変気になる。市の部局の方々や先生方は、この計画に則って推進されると思うが、私自身もこの冊子の内容をどの程度理解できるのか、不安を覚える。市民としては、自分が関わっている団体や活動の中で、自分ができることを進んで対応していくことが必要だと思う。そのような市民が増えれば、この計画は実になり成功すると思う。そのような考え方でよろしいか。</p> |
| 委員 | 私はこの審議会に生涯学習関係のルッチみらい会議から参加させていただいているが、その他に学校の制服の販売店をしているので、現役の保護者から、子どもの学校での生活や不登校についての悩みを聞く機会が多い。第4期計画を策定する際には、現役の保護者も委員に |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>入られても良いのではないかと思います。</p> <p>1点目、この計画を進めていく上で、市民の皆さんができることについて、お答えする。以前の会議でも、補助金も使い学校の環境整備等を進めても市民には見えていないというご指摘をいただいた。92ページの「計画の推進に向けて」の(2)の後段で、「多様な主体の様々な活動との連携を図り計画を推進します」「教育に関する施策について、広報まいばらや市公式ウェブサイトなどの媒体を活用して、市民へ分かりやすい説明と積極的な情報発信に努めます」という文言を入れている。行政としては、情報発信のタイミングや表現などに課題があると感じているので、それを意識して市民へ教育行政の情報を届けていきたいと考えている。</p> <p>2点目、構成メンバーについて、お答えする。ご提案は必ず記録に残して、今後の委員の選出の際に検討したい。</p> |
| 会長 | <p>審議会の持ち方についてのご意見をいただいた。このように広い観点からのご意見もいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>私の子どもは小中学生であるが、タブレットを持ち帰ってきた。ノートパソコンのような形で、今後、遠隔授業が始まるという期待感と、家庭環境の差による難しさも感じた。新しい可能性が広がる学習が始まるということで、活用方法の検討と今後のフォローをお願いしたい。</p> |
| 会長 | <p>ほかにご意見等があればお願いしたい。</p> <p>では、以上で議事を終了する。1年に渡り真摯にご議論いただき、感謝する。</p> <p>進行を事務局にお返しする。</p> |
| 事務局 | <p>会長、ありがとうございました。</p> <p>閉会に当たり、副会長よりご挨拶をお願いします。</p> |

| | |
|-----|--|
| 副会長 | <p>1年間は短い間だったと感じる。膨大な資料を隅々まで熟読していただき、それぞれのお立場からご指摘をいただき、良い答申案ができたと思う。感謝申し上げます。</p> |
| 事務局 | <p>教育長より挨拶をさせていただく。</p> |
| 教育長 | <p>1年前の昨年11月4日に、米原市長から策定について諮問され、本日の第7回までご審議いただいた。米原市の教育を取り巻く現状と課題の分析、それを根拠とした施策の展開の必然性および妥当性、全体のバランスや整合性を含め、ミクロとマクロの両方の視点からご指摘をいただいた。また、専門的な見地からも貴重なご意見いただき、計画に反映させていただくことができた。本日、答申案がほぼ固まり、修正を加えた上で、10月29日に市長に答申される予定である。その後、11月15日開催予定の定例教育委員会、さらには12月開催予定の米原市議会第4回定例会に議案として提案していく。今後は、第3期米原市教育振興基本計画をもとに、5年間に渡り、「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」の具現化に向け努力する所存である。</p> <p>会長、副会長をはじめ、15人の委員には感謝を申し上げます。引き続き、米原市の教育にご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。今後も皆様のご活躍を心より祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。</p> |
| 事務局 | <p>以上で、第7回米原市教育振興基本計画審議会を閉会する。</p> |